

勤労青少年 ホームの工事進む

大館市周辺には、4,800人ほど働く若い人たちがいます。

市ではこの年少労働者の保護および、福祉の増進をはかるため、2,272万円を投じて、中央公民館わきに勤労青少年ホームを建設中で、その工事も今月末の完成をめざして急ピッチに進められています。

勤労青少年ホームは、いわば年少労働者の「いこいの場」になるわけで、鉄筋コンクリート3階建てのこのホームには盛りたくさん施設が設計されています。

主な施設としては、シャワー室、相談室、スポーツ室、調理講習室、娯楽室、図書室、集会室などがあり組まれており、また、この施設に伴った卓球、ステレオ、茶花器などの用具も備なわることになります。



ています。

このホームが完成すると、中小企業に働く年少労働者を対象に、一般教養、実務教育の講習会をはじめ、生活相談、演劇、音楽会、レクリエーションなどの多彩な事業が計画されており、年少労働者の健全な育成をはかる意味あからしまで、青少年ホームの完成が各方面から大いに期待されています。

簡易保険資金融資事業 の融資で

公営住宅などが成完

市では、今まで簡易保険の融資を受け片山アパートなど、かずかずの建設事業をなしとげてきました。

昭和40年度においても、公営住宅建設事業と義務教育施設整備事業の2つの事業について郵政省簡易保険局から事業資金の一部資金として資金の融資を受けております。

すでに完成した建設事業としては、獅子ガ森に第1種公営住宅が8戸、第2種公営住宅が8戸、あわせて16戸の市営住宅が去年の12月に完成しております。

この公営住宅は総事業費1,161万円で建てられたものですが、この事業費のうち200万円は簡易保険の融資によるものです。

また義務教育施設整備事業としては、40年度に市が重点施策の一つとしてあげている学校施設の充実も、順調に工事が進められ、各学校とも工作室をはじめ家庭室などが完成しております。



(写真) 工事中の南中学校



完成した市営住宅

農業青年学級生を 募集しています

急激な社会の変化の中で、農業もまた私たちの想像を絶する変化をとげようとしております。

このような農業の動きに対しても、農家のたがたも従来の慣行農業とはまったく異なる考え方で、新しい農業にたち向っていかなければなりません。

そのためにも、新しい農業を充分に身につけながら多くのことを学び、かつ、考えることが必要です。

大館市では、昭和39年度より、こうした深い研究意欲にもえる農家の皆さんのために、学習団をつくりて学級をすすめてきました。

この学級は、大館市民の中で、農業の近代化に関心のある人であれば、どなたでも参加できます。ただし、グループ参加制になっておりますので、最低7名～20名くらいまでのグループを編成してつぎの要領で申しこんでください。

- ◆申し込み期日 41年4月10日まで
- ◆申し込み先 各地区的公民館
- ◆申し込書 各地区的公民館にあります。

- ◆募集人員 約150名
- ◆参加資格者の年令 15才～40才

□ 学習の概要

- ① 年間100時間の学習をします。
- ② 実用的な研究学習の時間を多くとります。
- ③ とくに参加者1人1人の希望をいかした学習をするために 稲作、そ菜、果樹、養豚、生活改善グループ等にわけてそれぞれ専門の講師を迎えて学習します。
- ④ 年間2回にわたって、研修および交換の目的で管外視察旅行をいたします
- ⑤ 参加希望者が多数の場合、またはグループの編成上に支障のある場合は、農業青年学級企画委員会で選考のうえ決定いたしますので、あらかじめご了承願います。

納税のお願い

◎ 市民税

3月31日で、昭和40年度がおわります。未納の市税がありましたら今月中に納めてくださいようお願いします

◎ 国民年金の保険料

40年度分の国民年金保険料は4月30日までにお納め願います